

会 務 報 告

東日本学園大学歯学会昭和58年度総会

本学会第2回総会は、昭和58年3月12日(土)午後1時30分より歯学部476講義室において会員多数の参会のもとに、昭和58年度総会として期日を繰り上げて開催された。

神澤会長の挨拶の後、会則により会長が座長をつとめ、堀越専務理事より昨年度設立総会以後の会務に関する経過報告、および上記期日を繰り上げた今回の総会開催の説明、今年度の事業計画概略等の報告がなされ、ついで井藤理事(庶務委員会)、猪股理事(会計委員会)、岡田理事(編集委員会)、加藤理事(企画委員会)より各所管事項について詳細な報告を行い、それぞれ承認された。

また、引続き昭和58年度第1回の会員の研究成果である一般講演15題の発表が質疑応答も活発に行われ、盛會裡に終了した。

各 委 員 会 報 告

庶務委員会

昭和58年3月12日に昭和58年度総会を開催した。

昭和58年2月28日現在の会員数は、正会員145名、準会員43名、賛助会員38団体である。

年度替りに当り入・退会者の事務手続きを円滑に行う予定としている。(井藤)

編集委員会

雑誌発行；1)創刊号(昭和57年12月発行)は本委員会、印刷所の不馴れから大巾に遅れ3月4日納本され即時会員に発送、配布した。此度の遅延については心よりお詫び申し上げる次第である。なお、発行部数は1,000部。

2)58年度以降は年2回発行し第1号は6月末、第2号は12月末予定とし、原稿の締切りはそれぞれ3月末、9月末である。とくに会員各位には研究成果を奮ってご投稿されんことを期待したい。

雑誌寄贈；本誌は全国歯科大学、歯学部、各医科大学・医学部の歯科口腔外科関係講座に発送し、またそれぞれの機関学会雑誌との交換方についても希望した。

国外については、会員各位より特に関係深い歯科大学、歯学部等のお申し出もお願いした。(岡田)

会計委員会

昭和57年7月31日より昭和58年2月28日までの会計に関する中間報告を総会で行った。

収 入	
正 会 員(139名)	1,112,000*
準 会 員(42名)	126,000
賛助会員(33名)	1,320,000*
寄 付	80,000
御 祝	50,000
雑 収 入	562
	2,688,562

* 入会費 3,000×139=417,000円を含む

** 入会費10,000×33 =330,000円

支 出	
会議費(祝賀会など)	257,200円
印刷費(除会誌)	231,000
謝金	115,283
物品購入費	59,097
交通・通信費	64,360
その他*	28,657
仮払(備品材料)	40,000
	795,597

*その他…コピー代、フィルム、写真など

収入－支出=2,688,562－795,597

=1,892,965

総残高¥1,892,965

なお57年度決算報告、58年度予算等については次号に掲載することの諒承が得られた。(猪股)

企画委員会

昭和57年10月30日、鶴見大学歯学部、秋吉正豊教授による特別講演「歯周組織の構造と病理」を教職員、学生約200名参会のもとに行った。

昭和58年3月12日午後2時より本学会第2回総会に引き続き一般講演15題の研究発表会を歯科保存学第一講座の当番で行った。今後本学会の学術講演会は年2回定期的に、また各講座の持ち廻り当番で行うこととした。

なお、本年6月中旬、日本歯周病学会が招聘したニューヨーク州立大学バッファロー校 Genco 教授、McKenna 準教授両氏の特別講演会を北海道歯学会、札幌歯科医師会と共催で行う予定である。(加藤)